

次世代マルウェア対策ソリューション

Cisco Secure Endpoint

過去にさかのぼってマルウェア分析ができるクラウド型クライアントセキュリティ

概要

■ Secure Endpoint とは

- Secure Endpointは、マルウェア感染の経路を自動で追跡し、感染したPCやマルウェアの検体を高速に特定することで企業／組織を防御するソリューションです。
また、マルウェア感染が発生した際にフォレンジックツールとしても利用できます。

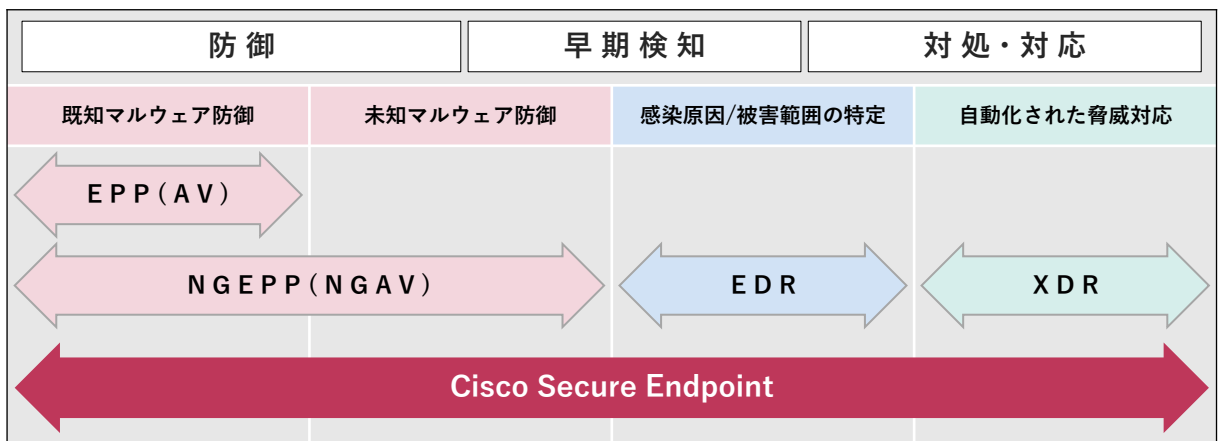


主な特長

- 低負荷で高速なマルウェア検知
- サンドボックス（クラウド型）
- クラウドベースの管理／設定
- ファイル履歴の記録と可視化 etc...

■ NGEPPとEDR/XDRのハイブリッド型クラウドマルウェア対策製品

- Secure Endpoint は、防御／早期検知／対処・対応フェイズを一つの製品でカバーするハイブリッド型のマルウェア対策製品です。

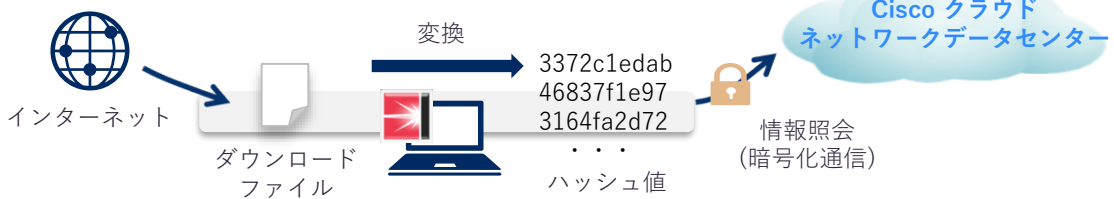


EPP	Endpoint Protection Platform	既知の脅威対策、シグネチャベースのウイルス対策
NGEPP	Next Generation Endpoint Protection	最新技術を使った防御中心の製品群
EDR	Endpoint Detection and Response	早期検知またはインシデント対応に注力した製品群
XDR	Extended Detection and Response	自動化された脅威対応、他ソリューションとの連携

特長

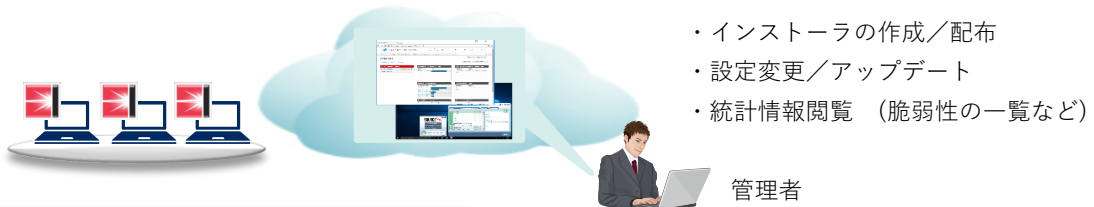
低負荷で高速なマルウェア検知

- ・ファイル固有の値(ハッシュ)をクラウドへの暗号化通信で検査します。
- ・ファイル本体を送らないため、処理が軽く高速に検知できます。



クラウドベースの管理/設定

- ・管理/設定はすべてクラウド経由で行います。厳重に管理されたCiscoのデータセンターに企業ごとにセキュアな領域が割り当てられるので、ハードウェア不要で導入が容易です。



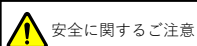
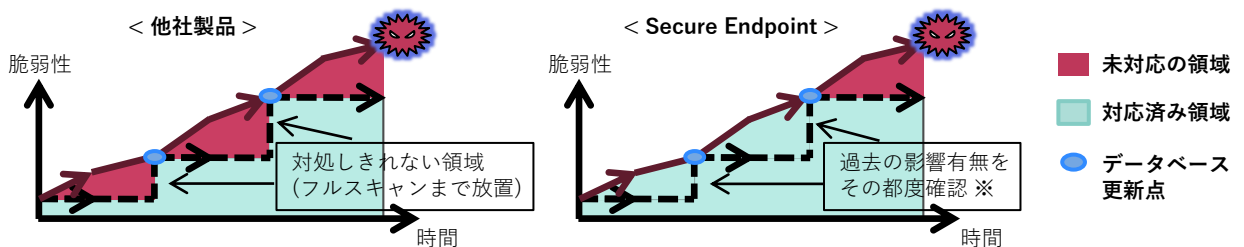
サンドボックス (クラウド型)

- ・疑わしいファイルはサンドボックス解析します。対象ファイルを自動または手動でクラウドに暗号化通信でアップロードするため、低負荷/低コストで最新のサンドボックスが利用できます。



ファイル履歴の記録と可視化

- ・ファイル送受信および実行履歴を全て記録し、GUI上に可視化します。データベース更新の都度、新たに発見される脅威をフルスキャンなしで即座に発見/隔離し、被害を最小限に抑えます。



安全に関するご注意

★本製品の設置/接続/使用に際しましては、取扱説明書などに記載されております注意事項や禁止事項を熟読のうえ、必ずお守り下さい。

※過去にさかのぼってマルウェアを検出、隔離

お問い合わせは、下記のNECへ

デジタルネットワーク事業部門

URL : <https://jpn.nec.com/datanet/cisco/>



Specialization

- Advanced Service Provider Architecture Specialization
- Advanced Data Center Architecture Specialization
- Advanced Enterprise Networks Architecture Specialization
- Advanced Security Architecture Specialization

- 本製品の製造元はCisco Systems, Inc.です。
- Cisco、Cisco Systems、およびCiscoロゴは米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc.の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本製品の輸出 (非居住者への役務提供等を含む) に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
- ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。
- 本カタログに掲載されている内容は、改良のため予告なくデザイン・仕様を変更することがあります。